

Win10 サポート切れその2

JJ1SXA/池

Win10 サポート切れの記事を書きましたが、初心者の考え方、対応でした、上級者、いわゆる玄人は、もっと別の考え方をするものだと感心する、前記事でも一寸触れましたが、Win11 非対応マシンを、強制的に Win11 マシンに変える方法があることが Youtube で公開されている、斎藤 OM も実行したとのこと。

この秋に Windows の大型アップデートがある予定のようだが、アップデートの後に、再度同じ作業でインストールする必要があるようで、一寸大変です。

この話とは別に、Win10 を使い続けるという話もあり、なるほどと感心した次第、勿論今まで通りの環境で使うのではなく、安全対策を施して使うということだ。

パソコンの使い方が適正であれば、サポート終了後、数年は使い続けることができるので、パソコンの設定をこのようにするのだと、Youtube で公開されている。

それは、「Windows の設定が容易に変更されない設定にする」こと、「パソコンに個人情報情報を保存しない」だ。

アプリがインストールされたり、設定の変更がされる場合は、必ず通知される設定にすることで、コンピューターウイルスの驚異からかなり高いレベルでパソコンを守ることができますとのこと。

後、保存されているパスワード を削除し、自動で保存されない設定をすること、クレジットカード情報も削除だ、これで漏洩する情報は無くなって、仮にウイルスに感染しても漏洩する情報が無いので安全ということになるとのことだ。

後は、費用をかけてサポートを受けて、Win10 を使い続ける方法だ、Microsoft は Windows 10 のサポート終了後もセキュリティ更新プログラムを最大 3 年間提供する「拡張セキュリティ更新プログラム(ESU…Extended Security Update)」を用意していますが、ESU には「更新が 3 年間しか続かない」デバイス当たり 1 年目に 61 ドル、2 年目に 122 ドル、3 年目に 244 ドル、3 年間合計で 427 ドルという高額なライセンス料がかかるといった問題もあります。

そんな中、スロベニアのセキュリティベンダーの「ACROS Security」が独自セキュリティパッチ配信サービス「0patch…ゼロパッチ」で Windows10 をサポートし、Windows10 の公式サポート終了後も Microsoft より安価な価格でセキュリティパッチを長期間配信し続けることを発表しました、0patch の料金は、Windows10 用のセキュリティパッチで年額 24.95 ユーロの PRO プランと、年額 34.95 ユーロの ENTERPRISE プランがあるようです。(料金は 2025 年 4 月現在)

(2025 年 4 月記)